

NO! リニア

No. 146

2022年7月25日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス



大井川水問題パンフは問題だ! ①

誤解・印象操作・違和感… 専門家から批判続出!

リニア工事による大井川の県外流失問題で会社は、流域住民の意見募集を目的に「大井川の水を守るために」と題したパンフを発行しました。このパンフをめぐる、静岡県有識者会議の委員などから以下の批判が出ています。

- ◆専門部会で質問に対して明確な回答が返ってこないのに、こうした冊子が出るのは訳が分からない。いいところだけ出ているような気がする。
- ◆非常に違和感を持った。専門部会で現在議論していることが一切書かれていない。冊子を見ると全ての物事が検討し尽くされたと誤解を与える。
- ◆国土交通省の専門家会議に県が示した47の質問項目のうち、どの部分に回答して不安を払拭しているのかをしっかりと示し、流域市町の皆さんに分かりやすく説明してほしい。
- ◆誤解や印象操作、楽観論や不安論をあおる可能性がある。

パンフに書かれている課題は全て未解決で、いかにも問題は克服できると誤解を招くものです。会社は意見募集と言いつつ、専門家などからこのような批判・異論が出るといことは、会社の考えを押し付けるためのパンフであることの証左です。建設ありきの姿勢を示したようなものです。JR東海労は、建設ありきの会社の姿勢を許しません。